

退院後6週間以内の予定外緊急再入院率

【指標の説明】

医療の効率化の1つの指標として在院日数が用いられます。
在院日数の短縮化が進む中で、提供している医療の質が低下していないか、回復が不完全な状態で早期退院となっていないか等、常に検証・検討していく必要があります。
本指標は、数値が低ければ質の良い医療が提供されているというひとつの目安となります。

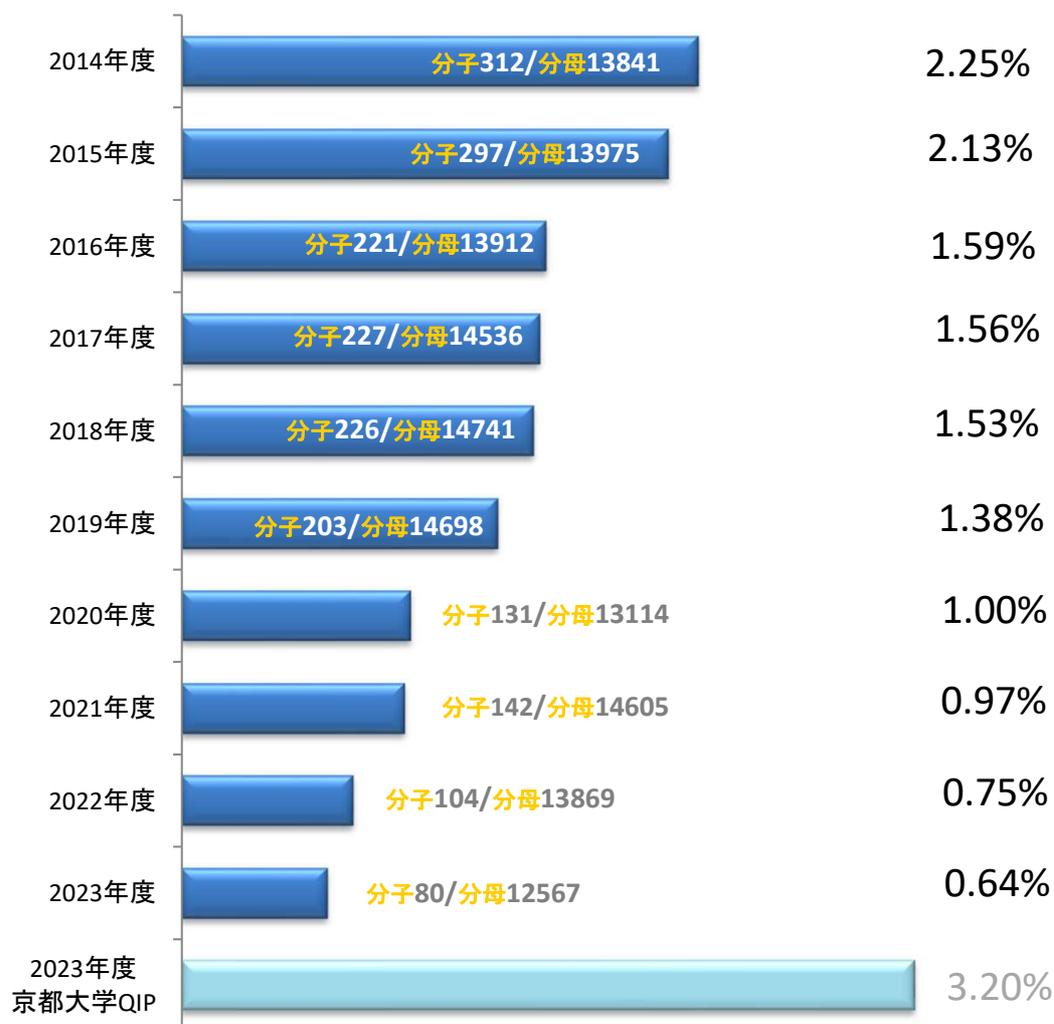
【定義】

京都大学QIP (Quality Indicator/Improvement Project) の定義を参考にしています。

分子 分母のうち、退院後6週間以内の救急医療入院患者数

分母 退院患者数

※ QIPはDPC算定対象の患者さんのみ対象としているが、当院はそれ以外(緩和ケア内科、精神科、歯科口腔外科)の患者さんも対象としている



京都大学QIP 2023年度計測結果より、参加する病院(500施設以上)の平均